



よりよい社会づくりのため、さまざまな社会貢献活動に取り組んでおります。

公共性の高い生命保険事業を営む当社では、事業の健全な運営こそが「企業の社会的責任（CSR）」を果たしていく上で最も大切なことと考えております。その上で、よりよい社会づくりのためにさまざまな社会貢献活動にも積極的に取り組んでおります。

● 芸術文化（アート）をとおして、つながっていくさまざまな活動

芸術文化（アート）には、「さまざまな人々をつなげていく力」があります。当社はこれまで、クラシック音楽のコンサート活動を通じ、多くのお客さまや地域の方々、また障がいのある子どもたちと音楽をとおして、つながってきました。そして、こうした芸術文化（アート）による活動は、コンサートだけにとどまらず、さまざまな活動へと発展・成長し続けております。

「フコク生命 訪問&チャリティコンサート」

この活動は、平成元年度に始まった内幸町本社ビルでのロビーコンサート「フコク・サロンコンサート」から発展してきました。

「フコク生命 訪問&チャリティコンサート」は、生の音楽演奏に触れる機会が限られる障がいのある方々にプロの音楽家による「本物のクラシック音楽の演奏」をお届けする「訪問コンサート」と、ご来場の皆さまに地域の福祉にお役立ていただく募金へのご協力をお願いする「チャリティコンサート」を、同じ地域であわせて開催するものです。

● 訪問コンサート

平成14年度より、「チャリティコンサート」を開催した地域の特別支援学校や障がい者施設などを訪問し、「チャリティコンサート」の出演者による「訪問コンサート」を行っております。

「訪問コンサート」では、単に音楽家の演奏会をお届けするだけでなく、当社支社スタッフやお客さまアドバイザーなども参加する、音楽家とコラボレーションするプログラムも行っております。

「訪問コンサート」は、平成27年度末までに通算218カ所を訪問いたしました。



● チャリティコンサート

平成5年度から開始した入場無料の「チャリティコンサート」では、会場でお客さまにチャリティ募金のご協力をお願いしております。ご協力いただいたチャリティ募金は、コンサート開催地の社会福祉協議会などへお届けし、地域の社会福祉にお役立ていただいております。

また、コンサートのご案内や当日の受付などの運営は、開催地の支社スタッフ・お客さまアドバイザーが行い、舞台上で音楽家とコラボレーションするプログラムも行っております。

「チャリティコンサート」は、平成27年度末までに、通算265回開催し、寄付総額は、約5,730万円となりました。



● コン서트会場での障がい者施設の製品販売会

この活動は、「訪問コンサート」でのつながりの中から生まれました。「チャリティコンサート」の会場ロビーへ、障がいのある方々の施設などをお招きし、施設で作られた製品の販売会を行っております。障がいのある方への理解の促進や社会参加の機会拡大に少しでもお役に立てればと考えております。



相互会社運営
お客さま基
点
決算の概要
CSR活動
ダイバーシ
ティ推進
内部管理態
勢
商品・サー
ビス

● 音楽をもっと多くの方に～タッチ・ザ・ミュージック!～

生のクラシック音楽をろう学校へお届けするオリジナルプログラム「タッチ・ザ・ミュージック!」も行っております。これは、子どもたちに直接ピアノに触れてもらったり、下に入ってもらうなどして、楽器の振動を直接身体に感じていただくプログラムです。触っていただくピアノは、プロのコンサートで使用されるスタインウェイ・ピアノです。



▲ピアノに触って、身体で音楽を感じる「タッチ・ザ・ミュージック!」。

● 「フコク生命パートナー・アーティスト」とともに

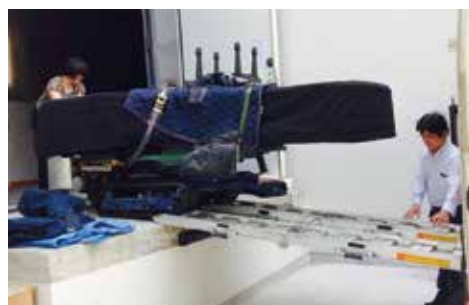
コンサートに出演するのは、活動の趣旨に賛同し、当社と相互理解を深めた「フコク生命パートナー・アーティスト」です。単なる出演者ではなく、ともにさまざまなプログラム創りなども行い活動を進めていく重要なパートナーです。「フコク生命パートナー・アーティスト」は、日本フィルハーモニー交響楽団のメンバーや国内外で活躍するトップレベルの音楽家で構成されています。



▲コンサートの最後は、お客さまとともに、舞台上で支社スタッフも手拍子で演奏に「参加」。

● 広がるパートナーシップ

「名器の音を届けたい」と、ピアノの貸出しや調律などを行っているタカギクラヴィア株式会社は、「訪問コンサート」のために名器「スタインウェイ」を全国に運んでくれています。



▲ピアノ搬入の様子。協力：タカギクラヴィア株式会社（フコク生命パートナー・コンサート・チューナー）

■フコク生命パートナー・アーティスト一覧

植村 太郎	ヴァイオリニスト
大森 潤子	ヴァイオリニスト
北村 哲朗	バリトン歌手
沢崎 恵美	ソプラノ歌手
嶋崎 裕美	ソプラノ歌手
武田 美和子	ピアニスト
竹村 浄子	ピアニスト
田中 梢	ピアニスト
土田 聡子	コロラトゥーラソプラノ歌手
中井 恒仁	ピアニスト
日本フィルハーモニー交響楽団	
長谷部 一郎	チェリスト
益田 真理	フルート奏者
森 美佳	ソプラノ歌手
森本 麻衣	ピアニスト
山本 薫	ヴァイオリニスト

(五十音順)



すまいる・ぎやらりー～特別支援学校児童・生徒作品展～

平成24年度より、障がいのある子どもたちのアート活動を応援する活動として、内幸町本社ビル地下2階の商店街壁面を利用して、全国の特別支援学校の児童・生徒絵画作品などの展示会「すまいる・ぎやらりー」を行っております。この活動は、当社が平成14年度から行ってきた特別支援学校へお伺いして行う「訪問コンサート」を通じた多くの特別支援学校との交流で生まれました。

また、出展作品を使用したカレンダーの作成を行い、お客さまへ当社職員、お客さまアドバイザーなどがお配りしております。



▲当社内幸町本社地下2階の商店街壁面に作品を展示。
作品は、当社のカレンダーにも。



アート活動と組み合わせた東日本大震災被災地応援活動「被災地応援&訪問コンサート」

東日本大震災からの復興には長い期間が必要であり、応援活動も長期継続したいと考え、平成27年度も、前年度に引き続き6月福島県、8月岩手県、10月宮城県の応援活動を設定し、その期間中に「被災地訪問コンサート」などの活動を集中して行いました。

応援期間中には「すまいる・ぎやらりー」による被災地の特別支援学校の作品紹介もあわせて開催しております。



被災地特産品販売会

福島県、岩手県、宮城県の被災各県の特産品を販売する「被災地特産品販売会」を内幸町本社地下1階のオープンスペースと千葉ニュータウン本社の研修センター大講堂で、各県の応援期間に合わせて開催しております。震災当初は、社内向けであったものを社外の方にもオープンにすることで、より多くの方にご協力をいただいております。

このような販売会は、「訪問&チャリティコンサート」会場ロビーにおける障がい者施設による販売会から生まれたものです。



▲本社ビル地下1階のオープンスペースを使用した「被災地特産品販売会」

■平成27年度「フコク生命 訪問&チャリティコンサート」開催実績

訪問コンサート				チャリティコンサート		
支社	回数	開催日	訪問先	回数	開催日	会場
福岡	208	平成27年 6月 2日(火)	福岡市立今津特別支援学校	255	平成27年 6月 1日(月)	アクロス福岡 シンフォニーホール
松江	209	平成27年 7月16日(木)	障害者支援施設 出雲サンホーム	256	平成27年 7月15日(水)	ビッグハート出雲 白のホール
大分	210	平成27年 9月 2日(水)	大分県立新生支援学校	257	平成27年 9月 1日(火)	ホルトホール大分 大ホール
埼玉	211	平成27年 9月 8日(火)	埼玉県立日高特別支援学校	258	平成27年 9月 7日(月)	大宮ソニックシティホール 小ホール
岐阜	212	平成27年10月14日(水)	岐阜県立長良特別支援学校	259	平成27年10月13日(火)	サラマンカホール
帯広	213	平成27年10月30日(金)	指定障害者支援施設 愛灯学園	260	平成27年10月29日(木)	帯広市民文化ホール 小ホール
高松	214	平成27年11月12日(木)	香川県立香川中部養護学校	261	平成27年11月11日(水)	サンポートホール高松 大ホール
福井	215	平成27年12月 8日(火)	社会福祉法人 あおい福祉会	262	平成27年12月 7日(月)	ハーモニーホールふくい 小ホール
三重	216	平成27年12月 9日(水)	国立病院機構 三重病院	263	平成27年12月 8日(火)	三重県総合文化センター 中ホール
沖縄	217	平成28年 1月19日(火)	沖縄県立鏡が丘特別支援学校	264	平成28年 1月18日(月)	沖縄コンベンションセンター 劇場棟
千葉NT 本社	218	平成28年 3月11日(金)	社会福祉法人 印旛福祉会 いんば学舎・陣屋	265	平成28年 3月10日(木)	フコク生命千葉NT 研修センター

(訪問先敬称略)

■平成27年度「フコク生命 被災地応援・訪問コンサート」開催実績

開催日	訪問先	開催日	訪問先
平成27年 6月 4日(木)	福島県立聾学校(本校)	平成27年10月17日(土)	福島県立会津養護学校竹田分校
平成27年 6月 5日(金)	福島県立郡山養護学校	平成27年11月16日(月)	岩手県立盛岡となん支援学校
平成27年10月 1日(木)	電力ホール(仙台支社) ^{※1}	平成27年11月17日(火)	岩手県立盛岡聴覚支援学校
平成27年10月 2日(金)	宮城県立小松島支援学校	平成27年11月25日(水)	福島県立聾学校福島分校
平成27年10月16日(金)	福島県立会津養護学校 福島県立聾学校会津分校	平成27年12月15日(火)	郡山市民文化センター 中ホール(福島支社) ^{※2}

※1「がんばろう！みやぎ！応援コンサート」として開催
 ※2「がんばろう！ふくしま！応援コンサート」として開催

(訪問先敬称略)

■平成27年度「すまいる・ぎやらりー」開催実績

開催期間	出展校名	開催期間	出展校名
平成27年 4月13日(月)～ 5月 8日(金)	金沢大学附属特別支援学校	平成27年11月 9日(月)～ 12月 4日(金)	福島県立会津養護学校
平成27年 6月 1日(月)～ 6月26日(金)	福島県立郡山養護学校	平成27年12月14日(月)～ 1月 8日(金)	岩手県立気仙光陵支援学校
平成27年 7月 6日(月)～ 7月31日(金)	千葉県立特別支援学校流山高等学園	平成28年 1月25日(月)～ 2月12日(金)	福島県立聾学校 本校
平成27年 8月 3日(月)～ 8月28日(金)	岩手県立釜石祥雲支援学校	平成28年 2月15日(月)～ 3月 4日(金)	福島県立聾学校会津分校・平分校・福島分校
平成27年10月 5日(月)～ 10月30日(金)	宮城県立石巻支援学校		

相互会社運営
 お客さま基
 点
 決算の概
 要
 C
 S
 R
 活
 動
 ダ
 イ
 バ
 ー
 シ
 テ
 イ
 推
 進
 内
 部
 管
 理
 態
 勢
 商
 品
 ・
 サ
 ー
 ビ
 ス

METライブビューイングへの協賛

ニューヨーク・メトロポリタン歌劇場（MET）で上演されたオペラ公演をハイビジョン映像で映画化し、上映する「METライブビューイング（松竹株式会社配給）」に協賛しております。最上級のオペラ芸術に接する機会をご提供する活動に協賛することで、芸術文化振興に貢献しております。

METライブビューイング2015-16《ロベルト・デヴェリュー》
©Kristian Schuller/Metropolitan Opera



障がい者施設運営のベーカリーショップの出張販売会

内幸町本社や千葉ニュータウン本社主催の「訪問&チャリティコンサート」でのロビー販売会をきっかけに、定期的に両本社内において障がい者施設運営によるベーカリーショップの出張販売会を行っております。当社職員も販売会のスタッフとして参加するなど、販売場所をご提供するだけでなく施設との協働運営を行っており、社内における障がいのある方への理解促進の一助と社会参加を支援しております。



販売団体

内幸町本社：社会福祉法人「緑の風」運営「さくらベーカリー」

千葉ニュータウン本社：社会福祉法人印旛福祉会「いんば学舎・オソロク倶楽部」

「ハローキティ」の病院訪問活動

当社イメージキャラクターである「ハローキティ」が、小児病棟などを訪問し、入院中のお子さまやそのご家族を応援する活動です。キティちゃんとの記念写真を、当社考案の写真立てにもなる、オリジナルフォトフォルダーに入れてプレゼントしております。このフォトフォルダーは社内有志が作成しております。



■平成27年度「『ハローキティ』の病院訪問活動」活動実績

実施日	訪問先
平成27年 8月10日(月)	神奈川県立こども医療センター
平成27年 9月 3日(木)	国立病院機構 三重病院
平成27年12月14日(月)	大阪大学歯学部附属病院
平成28年 2月16日(火)	都内医療機関

▶社内で考案した写真立てにもなるフォトフォルダー。ハローキティのオリジナルデザインに加え、表面には、当社職員の手作りのデザインやイラストが描かれています。

ピンクリボン運動、HelloSmile（ハロースマイル）への協力

当社では、平成20年度より乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝える「ピンクリボンフェスティバル（日本対がん協会など主催）」への協賛などを通じ、ピンクリボン運動を支援しております。

さらに平成23年度には子宮頸がんの予防啓発を推進するプロジェクトHelloSmile（ハロースマイル）へ参画し、同プロジェクトの支援も行っております。

具体的な取組みとして、当社職員が、ピンクリボンバッジやHelloSmileバッジをつけ「啓発パンフレット」などをお客さまに配布して、検診の大切さを伝えるなどの活動を行っております。



「振り込め詐欺」被害防止に向けた啓発活動への協力

当社は、社会問題となっている「振り込め詐欺」の被害防止に協力するため、平成27年度より各都道府県の警察本部、警察署と連携し啓発活動に取り組んでおります。具体的には、当社お客さまアドバイザーが「振り込め詐欺被害防止アドバイザー[※]」として、日頃の営業活動の中で振り込め詐欺に関する注意喚起を行い、被害防止に努めております。



※「振り込め詐欺被害防止アドバイザー」は警察本部、警察署に実施していただく「振り込め詐欺」被害防止に関する研修を受講し、社内認定を受け、活動しております。

「振り込め詐欺」を「ニセ電話詐欺」と呼称している警察本部、警察署においては、研修を受講したお客さまアドバイザーを「ニセ電話詐欺被害防止アドバイザー」として認定しております。

平成27年度 振り込め詐欺被害防止活動協力支社 22支社

大阪富国生命ビルの社会貢献活動

平成22年に竣工の大阪富国生命ビルは、京都造形芸術大学「大阪サテライトキャンパス」、立命館大学「大阪キャンパス」などの大学関係施設や、大阪大学との産学連携活動の支援施設などを誘致し、芸術文化、健康などに関する情報を地域社会に発信しております。

また、大阪大学の先生方が中心となり設立された植物研究を通じた緑豊かな生活環境の構築を目指す「智の木協会」へも参画しております。



その他の取組み

全国各支社での独自の取組み

各支社単位でお客さまアドバイザー、内務職員が独自の社会貢献活動を行っております。

SRI（社会的責任投資）ファンドの提供

企業年金、確定拠出年金の資産運用にSRI（社会的責任投資）ファンドの提供を行っております。これは、企業の社会的責任（CSR）を評価して運用を行う投資手法で、従来の財務分析に加えて、環境・社会・ガバナンス面での評価を行います。CSRに優れた企業に投資することで、結果として社会の健全な発展に貢献するものと考えております。



環境へ配慮した活動を推進しております。

温暖化対策をはじめとする環境保護への取組みは、わたしたちが健康で豊かな生活を営む上で重要なものとなってきています。当社では、職員一人ひとりがしっかりと環境への意識を持ち、行動していくことが大切であると考えております。また、オフィスビルなどで省エネルギーへの取組みも行っております。

「フコク生命(いのち)の森」プロジェクト ～「宇佐美倶楽部」の活動～

平成18年度より、環境保護活動に参加・体験することのできる場として、「竹害対策」を主とした「フコク生命(いのち)の森」プロジェクトを行っております。

現在、後継者不足などで、人の手が入らなくなった放置林が増えています。中でも繁殖力の強い孟宗竹(もうそうちく)の放置林は、温室効果ガスの一つであるCO₂の吸着に必要な森林を侵食してだけでなく農耕地への侵入などの悪影響を引き起こしています。また、根の浅い竹林は、地すべりや表土の流失の原因ともなり、山林の荒廃や土砂崩れなどの災害の原因ともなります。これを「竹害」と言い、自然環境の保全や災害対策が必要となってきています。



「フコク生命(いのち)の森」プロジェクトは、当社が静岡県伊東市宇佐美に保有する山林を保全するため、竹林伐採を当社役職員の手によって行う活動です。森の再生だけでなく、間伐により竹林自体も健全な状態に戻していくことを目標とし、社内の有志により組織された「宇佐美倶楽部」が中心となって進められています。平成27年度は、10回実施され、112名の役職員とその家族などがボランティアで参加しました。

フコク・クリーン倶楽部(FCC)活動

平成18年1月より千葉ニュータウン本社勤務者により、最寄駅「北総鉄道 千葉ニュータウン中央駅」の駅前清掃活動を行っております。毎月、有志の団体「フコク・クリーン倶楽部(FCC)」により活動が行われております。



ペットボトルキャップ回収活動

平成19年度より本社内にて「ペットボトルキャップ回収活動」を行っております。回収したペットボトルキャップをリサイクルすることで、CO₂発生抑制や省資源化に貢献しております。またその買取代金をペットボトル回収ボランティア経由で、「世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)」へ寄付し、ポリオワクチンなどを世界の子どもたちへ届ける活動にも貢献しております。



ペットボトルキャップ回収実績

平成19年8月回収開始以来、平成28年3月回収分まで

- 累計個数 約187万個
- CO₂削減量 約14,700kg
- ポリオワクチン 約2,300人分相当

環境に配慮した大阪富国生命ビル

平成22年にオープンした大阪富国生命ビルは、屋上・敷地内への緑地の確保、環境に配慮した空調システムの導入、電気エネルギー削減の工夫など、地球環境の改善に取り組んでおります。こうした取組みが高く評価され、大阪市建築物総合環境評価制度において、「第5回顕彰建築物 CASBEE大阪 OF THE YEAR2010」の表彰を受けております。



本社ビルにおける総エネルギー使用量の状況

内幸町本社ビル			千葉ニュータウン本社ビル		
年度	原油換算KL	前年度比	年度	原油換算KL	前年度比
平成25年度	4,222	2.3%	平成25年度	2,056	0.2%
平成26年度	4,019	-4.8%	平成26年度	2,001	-2.7%
平成27年度	4,044	+0.6%	平成27年度	1,997	-0.2%

※電気・ガスなど総エネルギー使用量を原油使用料に換算して表示しております。

※内幸町本社ビル、および千葉ニュータウン本社ビルは、「省エネルギー法」における「エネルギー管理指定工場等」に指定されております。

相互会社運営
お客さま基点
決算の概要
CSR活動
ダイバーシティ推進
内部管理態勢
商品・サービス



スチュワードシップ活動

当社は、「責任ある機関投資家」の諸原則《日本版スチュワードシップ・コード》を受け入れ、適切にスチュワードシップ責任を果たすため、「スチュワードシップ責任を果たすための方針」「スチュワードシップ責任を果たすに当たり管理すべき利益相反についての方針」「議決権行使についての方針」に則り取り組んでいます。なお、これらの方針および議決権行使結果については、当社のホームページで公表しています。

(ご参考)「責任ある機関投資家」の諸原則《日本版スチュワードシップ・コード》

1. 機関投資家は、スチュワードシップ責任を果たすための明確な方針を策定し、これを公表すべきである。
2. 機関投資家は、スチュワードシップ責任を果たす上で管理すべき利益相反について、明確な方針を策定し、これを公表すべきである。
3. 機関投資家は、投資先企業の持続的成長に向けてスチュワードシップ責任を適切に果たすため、当該企業の状況を的確に把握すべきである。
4. 機関投資家は、投資先企業との建設的な「目的を持った対話」を通じて、投資先企業と認識の共有を図るとともに、問題の改善に努めるべきである。
5. 機関投資家は、議決権の行使と行使結果の公表について明確な方針を持つとともに、議決権行使の方針については、単に形式的な判断基準にとどまるのではなく、投資先企業の持続的成長に資するものとなるよう工夫すべきである。
6. 機関投資家は、議決権の行使も含め、スチュワードシップ責任をどのように果たしているのかについて、原則として、顧客・受益者に対して定期的に報告を行うべきである。
7. 機関投資家は、投資先企業の持続的成長に資するよう、投資先企業やその事業環境等に関する深い理解に基づき、当該企業との対話やスチュワードシップ活動に伴う判断を適切に行うための実力を備えるべきである。

債券投資を通じた社会貢献事業支援

——世界銀行発行の「サステナブル・ディベロップメント・ボンド」の購入——

当社は平成27年3月に世界銀行が発行するサステナブル・ディベロップメント・ボンドへ投資を行いました。

今回の投資は、ご契約者の大切な資金を運用するにあたって、収益性の確保のみならず、当社の経営理念である「社会への貢献」を果たしうる手法であると位置づけており、今後も、同様の投融資を継続的に実施していきたいと考えております。



本投資を通じて世界銀行より感謝状が贈呈されました。
(左より世界銀行財務局 有馬駐日代表、米山社長)



教育改善プロジェクト(アルメニア)
©World Bank



貧困層の母子保健プロジェクト
(アルゼンチン)©World Bank

サステナブル・ディベロップメント・ボンドは、世界銀行が開発途上国の貧困削減および開発支援のために取り組む、教育・保健・インフラ・行政・農業・環境等の幅広い分野のプロジェクトを支えるために国際資本市場で発行されます。

国連責任投資原則への署名

当社は、国連責任投資原則 (PRI、Principles for Responsible Investment) の趣旨に賛同し、平成28年3月21日に署名機関となりました。当原則に則った投融資を行うことで、収益性の向上のみならず、社会の発展や環境保全などに資するものと考えています。今回の署名を契機に、ESG^{*}課題を投資の意思決定プロセスに組み込むとともに、同じく署名機関となった富国生命投資顧問株式会社と連携し、ESG投資を拡充してまいります。



※ ESG：E (環境、Environment)、S (社会、Social)、G (ガバナンス、Governance)